

6社の小売業者がSNAPのオンライン食料品プログラムに新たに参加

イリノイ州福祉局 (IDHS) は、イリノイ州においてオンラインのSNAP購入を提供する6社の新規小売業者を発表できることを大変嬉しく思います。新たに承認された小売業者は、Capri IGA、County Market、FairPlay Neighborhood Market、Schnucks、Supermercados El Guero、Woodman's Marketの6社です。上記の新規小売業者は、イリノイ州全体で合計83の店舗を運営しています。

これにより、イリノイ州の住民は現在、合計で9つのSNAP需給家族向けのオンラインオプションを利用いただけるようになりました。ALDI、Amazon、およびWalmartもイリノイ州でオンライン注文を受け付けています。

SNAPをオンラインで利用するには、www.capriiga.com、mycountymarket.com/shop/online-grocery-shopping/、fairplayfoods.com、shop.supermercadoselguero.com/、shopwoodmans.com、shop.aldi.us、Amazon.com/SNAP、または Grocery.Walmart.com のいずれかを選択し、画面の指示に従ってください。

イリノイ州のLinkカードを持っているすべてのSNAP受給者が参加いただけます。SNAPへの登録や詳細情報については、dhs.state.il.us をご覧下さい。このプログラムに興味をお持ちの小売業者様は、<http://www.fns.usda.gov/snap/online-purchasing-pilot> で詳細を確認し、申請を行うことができます。

デイケアセンターのスタッフにCOVID-19ワクチン接種またはCOVID-19検査を要求する新しい州知事命令を発令

州知事のJB Pritzkerは、イリノイ州のすべてのデイケアセンタースタッフに1月初旬までにCOVIDワクチン接種を受けるか、毎週COVIDの検査を受けることを要求する新しい州知事命令を発令しました。この新しい命令は、州全体の認可を受けたデイケアセンターのスタッフ55,000人以上のに適用されます。

デイケアのスタッフは、12月3日までにファイザーまたはモデルナワクチンの初回接種を受けるか、またはジョンソン&ジョンソンワクチンの単回接種を受ける必要があり、その後ファイザーまたはモデルナワクチンの2回目の接種を2022年1月3日までに受けることが義務付けられます。12月3日までにワクチン接種を完了していないデイケアスタッフは、ワクチン接種が完了するまで毎週COVIDの検査を受ける必要があります。

IDHSが親とチャイルドケアプロバイダーをサポートするための追加投資の実施を決定

IDHSは、現在失業中の再就職を希望している親に対するチャイルドケアへのアクセスを拡大すること、そしてプロバイダーとその従業員をサポートすることによって、チャイルドケア・インフラストラクチャを強化することを目的とした新規投資を実施いたします。

IDHSは、COVID-19のパンデミックにより、多くの家族が職を取り戻すための支援が必要な状況に置かれていることを理解しています。したがって、2021年10月1日以降、失業中で、積極的に雇用を求めている親は、標準のCCAP資格要件を満たしていれば、3か月の育児支援を受けられます。対象者が3か月の育児支援期間の終了までに雇用されるか、教育プログラムに登録し、他のすべてのCCAP資格要件を満たしている場合、同資格は合計で12か月間継続されます。

育児支援プログラムを通じて支援を申請することを希望するご家族は、育児支援リソース&紹介エージェンシー (CCR & R) にウェブサイト：<https://www.inccrra.org/about/sdasearch> からお問い合わせいただくか、フリーダイヤル：1-877-202-4453でお問い合わせください。

さらに、IDHSは来月からチャイルドケアスタッフボーナスプログラムを開始します。本プログラムでは、すべての認可および健康と安全に関する要件を満たしている場合、保育所および家庭で勤務する免許を持つおよび免許が免除されているすべ

てのスタッフに最大で\$1000のボーナスが支給されます。保育士は、2021年10月から2022年3月の間に雇用主を通じて支払いを受け取るようになります。このボーナスに続き、2回のチャイルドケア回復助成金が支給される予定です。さらに、2022年に助成金の追加フェーズが実施され、州全体のチャイルドケアプロバイダーが3億ドルを利用できるようになります。

本プログラムに関する申請情報は、数週間以内にイリノイ州チャイルドケアリソース&紹介機関ネットワーク (INCCRRA) を介して雇用主に提供される予定です。雇用主は、州が支給するボーナス額の100%をスタッフに支払う必要があります。

詳しくは www.ilgateways.com/financial-opportunities/restoration-grants をご覧ください。

10月は全国若者薬物使用防止月間

IDHSの薬物使用防止・回復課 (SUPR) は、当州における薬物使用防止への取り組みを指揮しています。

薬物使用と運転という危険な組み合わせが衝突事故や死亡事故につながるため、IDHSは10月17~23日を全国ティードライバー安全週間として定めています。

10代の薬物使用は、10代の追突事故の原因として大部分を占めます。米国運輸省 (USDOT) は、15~18歳の個人の主な死因が自動車事故であること発表しています。

IDHSのコミュニティパートナーである Prevention FirstとPrevention FirstのPrevention Resource Center (予防リソースセンター) は、1時間のウェビナー：アルコールと10代の交通安全を10月19日火曜日の午前10時 (中部標準時) に主催しました。

さらに、IDHSは、10月23日の午前10時から午後2時まで、DEAとパートナーの全国処方箋回収日を執り行います。この日は、処方薬の乱用の可能性についての認識を高めると共に、処方薬を安全で

便利かつ責任を持って処分する方法を提供するために制定されました。

人々は、イリノイ州全体で指定されたドロップオフポイントで、未使用または期限切れの処方薬および非処方薬を処分することができます。ご本人様または務める機関がこのイベントに参加することを計画している場合は、地元の法執行機関と提携することをご検討ください。

これらの回収場所の詳細については、www.takebackday.dea.gov にアクセスしてドロップオフポイントを探るか、DEA Diversion Control Division Registration Call Center (DEA流用管理課登録コールセンター) (1-800-882-9539) までお電話ください。

緊急賃貸および光熱費支援



イリノイ州福祉局の「住宅支援プログラム」は、COVID-19 パンデミックの影響を受けたイリノイ州の適格な世帯を対象とした、家賃および光熱費の支援プログラムです。IDHSはコミュニティベースの組織と連携して本プログラムを運営しています。

当局の提携組織が、申し込みの受付を行っています。関心のある方は、<https://www.illinoisrentalassistance.org/providers> で提供される情報を利用して組織に連絡する必要があります。

本プログラムについての詳細については、www.illinoisrentalassistance.org からご覧ください。